



KaSpl の3つの活動

- みんなが動かす人工衛星の開発打ち上げ
大阪・関西の中小企業や大学が連携し製作したまいど1号の成功は、宇宙開発のイメージを市民レベルに引き寄せました。私たちはこのパワーを関西全域に拡大し、関西が小型人工衛星による宇宙開発の拠点となるように、国に小型衛星プロジェクトの立案・推進を提案し、産学官民連携による人工衛星の新たな利用や宇宙ビジネスの展開を推進支援します。
- 関西流の中小企業との連携と協働
今までの宇宙開発ではなかなかやれなかった部品の汎用化やコストダウンを、関西の中小企業の「ものづくり」の技術、特徴ある技術を活かして実用的な小型人工衛星を実現できるようにするための、潤滑剤と接着剤の役割を引き受けます。
- 子供たちと宇宙とのふれあい拠点の実現
宇宙は子どもたちの夢の原点です。子どもたちが、あらゆる最新科学の集合体である宇宙と出会えば、それをきっかけに子どもたちを科学の世界にいざなうことができるのではないのでしょうか。
子どもたちが携帯やパソコンから直接操作できる人工衛星を提案し、宇宙や科学分野の最新の知識に触れ、その魅力に触発される「科学とふれあう拠点」を構築し、子どもたちに明るい未来と勇気を与えることをめざしています。

入会のお願い



KaSplは、まいど1号に続く衛星に、子どもたちが直接ふれることが出来る機能を搭載して、衛星と遊ぶ広場をつくりたいと考えています。

次の衛星をつくって、打ち上げるには、国の支援が必要です。大勢の市民の皆さんの賛同があれば、国は資金を提供することができますでしょう。

私たちはKaSplの活動が、関西での宇宙開発を盛り上げ、そこから様々な効果が生まれることを願っています。

ご入会を心よりお待ちしております。

事務局
〒599-8531
大阪府堺市中区学園町1-1
大阪府立大学
小型宇宙機システム研究センター内
E-mail:jimu@kaspi.jp
HP:http://www.kaspi.jp

年会費
一般正会員 : 3,000円/年
学生正会員 : 1,500円/年
一般運営会員 : 5,000円/年
学生運営会員 : 2,500円/年
賛助会員 : 10,000円/1口・年

特定非営利活動法人

関西宇宙イニシアティブ



KaSpl (カスピ) とは？

■設立の目的

これまでの概念にとらわれない産学官民の連携によって、関西に小型人工衛星開発の新たな拠点を作ることを目的としています。

■基本方針

「宇宙を身近に」が合い言葉です。小型人工衛星の企画・製作・管理・運用を市民参加の関西スタイルで展開、支援します。

■役員

代表理事

畚野信義：

奈良先端科学技術大学院大学理事

副代表理事

東 久雄：大阪府立大学客員教授

稲田伊彦：日本宇宙少年団専務理事

常任理事兼事務局長

小川信夫：NPO理事

常任理事

浅野幸治：企画・情報担当

■協力団体

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

日本宇宙少年団 (YAC)

大阪府立大学

宇宙科学技術研究センター

小型宇宙機システム研究センター

KaSplの活動

宇宙ふれあい広場

小さな教室ほどの場所に、

送受信機・操作パネル・アンテナ・映像スクリーンなどを設置すれば、宇宙ふれあい広場が完成します。

KaSpl は、いつでも気軽に宇宙とふれあうことができるように宇宙ふれあい広場を広げていきます。

子どもたちが、ふれあい広場から KaSpl - 1 に命令すると、衛星が命令に従う様子がスクリーンに映し出されます。

広場では、ボランティアのインストラクターが、宇宙や宇宙開発に関わる「なんで？」や、宇宙開発に使われている多様な科学分野の疑問に答えます。

